

信大病院 21C

ハミングク



No.66
2014.2.24

基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



「燕岳から望む槍ヶ岳」
撮影：川上 正司

主な記事

- 小児科病棟 クリスマス会 2
- HPリニューアルのお知らせ 6
- 平成25年度防災訓練について 3
- 西6階 病棟の紹介 7
- 患者サロン「ひまわり」でクリスマス会を行いました 4
- ご意見函からの声 7
- 「メディカルフォーラム in 信州2013」を開催 5
- 電話番号表・編集後記 8
- オーバーテーブルの紹介 6

小児科病棟 クリスマス会

小児科 倉沢 伸吾

昨年の12月17日、病棟4階にて小児科主催のクリスマス会を開きました。入院中だけでなく外来に通院中のお子さんやご家族も参加してくれたお陰で、4階のデイルームが一杯になるほど沢山の人が集まり、賑やかに会は始まりました。

最初は子供たちの発表から。6歳までの小さな子供たちは歌に合わせたダンス、小学生以上の子はベルなどの楽器を使った生演奏を披露してくれました。大勢の前での発表で照れてしまう姿も可愛らしく、また、日頃つらい治療に耐えながらこの会に向けて練習してきた成果を、堂々と見せてくれた姿も胸を打つものがありました。

次は大人が頑張る番です。今年は検査部、放射線部、薬剤部、Tully's Coffeeと非常に多くの方々に参加してくださいました。パフォーマンス内容もダンス、巨大シャボン玉作り、劇、絵本の朗読などバラエティに富んでいて、子供たちの笑顔は絶えることなく大盛り上がりでした。私たち小児科からはバイオリン演奏と、看護部がアンパンマン、若手医師から桃太郎をそれぞれ出させていただきました。練習や準備は、業務の合間や夜などなかなか限られたものでしたが、観客



の子供たちから笑顔と拍手をもらえて、頑張ったよかったですと心から思います。

クリスマスプレゼントも全員に贈り、みんな目を輝かせて喜んでくれました。部屋に回診に行くと今でも大事に飾ってくれている子もいます。終わりに全員で“きよしこの夜”を合唱して楽しい今年のクリスマス会は終了しました。

当院で治療を受ける子供たちは、難病を長く抱える子が入院にも外来通院にも大勢います。治療内容によっては、病棟から出られない子や人ごみを制限されている子もいます。そういった子供たちが、このクリスマス会を通じて、笑って気を晴らしたり、治療のモチベーションを上げたりする手助けになってくれればと願います。

最後になりましたが、ご参加をいただきました検査部、放射線部、薬剤部、Tully's Coffeeや信和会の皆様、院内学級の先生方のお力で盛大な会を開くことができました事を感謝申し上げます。また今後ともよろしく願い申し上げます。

追伸：我こそはと思うパフォーマーをお待ちしております。子供たちの喜ぶ顔を見たい方、ぜひ小児科までご連絡をお願いいたします。

平成25年度防災訓練について



去る平成25年11月21日（木）に防災訓練を院内にて実施いたしました。火災発生時における初期消火訓練及び煙道体験訓練を始め、病棟における火災・避難誘導訓練、さらには地震により多数の傷病者が本院に押し寄せた場合を想定した多数傷病者受入訓練を実施し、教職員及び外部委託業者の方々も含め約400名が参加しました。特に地域住民30名の方に模擬患者となっただけ執り行った多数傷病者受入対応訓練では、傷病者の怪我の程度に応じて病態を簡易的に振り分けるトリアージの実施、応急処置、入院病棟の決定、搬送までの一連の流れを、日頃は別々の部署に所属し

ている医師、看護師、コメディカル、事務職員が一体となつて、真剣な面持ちで訓練に取り組む様子は本番さながらであり、災害拠点病院としての使命を果たすべく貴重な機会となりました。

訓練は、松本広域消防局丸の内消防署長を始めとした消防隊員の皆様にも支えられ、また国立大学病院間でお互いの防災能力を評価し合う「災害対策相互訪問事業」により山梨大学医学部附属病院の職員の方々からも評価をいただき無事に終える事ができました。

災害は起こらない事を切に願いますが、起こりうる事を想定して今後も訓練に励みたいと思います。



患者サロン「ひまわり」で クリスマス会を行いました

医療福祉支援センター 臨床心理士
高橋 まり子



本院では、がんの患者さんやご家族が、こころの悩みや体験などを自由に語り合うための場として、患者サロン「ひまわり」を毎月1回第4火曜日の13時30分から14時30分まで、外来棟4階の研修室6にて開催しております。開始から今年で3年が経ち、参加人数も増え、毎回10名前後のがん患者さんやご家族の参加があります。

今回はサロンの日程がクリスマスイブと重なり、毎年恒例のクリスマス会を12月24日に行いました。男女合わせて17名と大勢の方が参加してくださいました。いつもの参加者同士の語り合いに、クリスマスということで、飲み物やケーキを囲み、和やかな雰囲気サロンとなりました。語り合いの中では、つらい気持ちを話される方に、他の方が同じ立場に立って考え、自分の場合はこうだったなど体験を語ることで、お互いに元気や勇気をいただいているようでした。語り合いにより、自分ひとりが苦しんでいるのではないと感じられ、心の支えにつながっていると思います。ご自身の体験を語ること、相手の体験を聴くことによって、がんを体験した患者さんやご家族がお互いに支え合う場になっていると感じています。

「ひまわり」では、いつも参加していただいている方、時々参加いただく方、初めての方が織り交ざりながら、毎回新しい語り合いが行なわれます。初めて参加された方が、始めは暗い表情をされていても、帰る頃には表情が和らぎ、笑顔が見られることも多いです。「ひまわり」は、参加してくださる方々に見守ら

れ、あたたかい雰囲気の中、少しずつ成長しています。ひとりで悩んでいたたり、つらい思いをされているがん患者さんやご家族に、ぜひご参加していただければと思います。参加は無料で、申込みの必要はありません。ご都合に合わせて、途中入室も自由です。お気軽にご参加ください。

参加された方の感想

「参加することを迷っていたが、いろいろ話すことができて良かった。」

「みんな仲が良く、雰囲気が良かった。また来たい。」

「サロンがあると、安心感につながる。」

「サロンに来て、みんなが頑張っているのを聞き、元気になる。」

また、サロンでは語り合いの後に、気分転換のためのイベントを不定期に行っています。音楽療法、アロマハンドマッサージ、太極拳、リンパ浮腫勉強会、クリスマス小物作りなどです。こちらも自由参加です。

日程、場所、イベント内容の変更がございますので、院内掲示の患者サロン「ひまわり」のポスターや当院ホームページのお知らせでご確認ください。

● サロンに関するお問合せ

医療福祉支援センター：仁科・高橋 ☎0263-37-3370

● 担当スタッフ

がん性疼痛看護認定看護師：伊藤紗弥香

緩和ケア認定看護師：内藤綾子

医療福祉支援センター、がん相談担当看護師：仁科直美

「メディカルフォーラム in 信州2013」を開催



信州大学医学部附属病院では、平成25年11月17日(日)に、「メディカルフォーラム in 信州2013」を開催しました。これは、長野県内の中学生や高校生に向けて、医療現場で実際に使っている機器や器具を使い、診察、手術の体験をしてもらうものです。子どもたちの体験講習会は、6年前から開始し、今回で4回目となりました。

参加者は、応募数79名から選考された、高校生12名、中学生17名の計29名です。外科、内科合わせて5つのプログラムを準備しました。子どもたちは6名の5グループに分かれてローテーションし、各プログラムを体験しました。プログラムは以下のとおりです。

●プログラム

外科1 手術の基本はここにありー縫合と糸結びー

外科2 顕微鏡で見よう！がん細胞

内科1 内視鏡で見よう！胃と腸の中

内科2 聴いてみよう！心臓と肺の音（トレーニング機器を使った聴診）

総 合 救命処置（AED）を体験しよう

外科のプログラムでは、手術の基本である縫合と糸



結びを体験しました。四苦八苦しているところを医師がマンツーマンで丁寧に指導しました。「こんなに難しいことを先生はすいすいやっている。すごい！」「丁寧に教えてもらって嬉しかった」との声が聞かれました。そして、手術で採取された組織、細胞を顕微鏡で観察し、ミクロの世界の探検です。正常組織のきれいな並びと癌細胞の不規則な並びに驚いていました。病理医になりたいという学生もいました。

内科のプログラムでは、内視鏡による胃・腸の観察、普通では見ることでできない世界を垣間見ました。医師が行う身体の向きを変えての操作、左右両手を使つての巧妙な技に感嘆していました。

医療用マネキンを使つての心音、肺音の聴診では、正常、異常について学びました。聴診器一本で診断が可能になることを聞き、子どもたちも一生懸命聞き分けていました。

また、AEDを使用した救命処置の体験では、速攻結成のチームで処置を行いました。チームワーク良く行うことができました。他の技術はすぐに使うことはできませんが、こちらは、明日にも生かせる内容で、達成感があったようです。

終了後のアンケートでは、「医師・看護師の道に進みたいと更に思いました」「医療の道に進みたいと思います」という回答が多かったです。今回の体験が意味あるものになったと確信しました。

将来、医療の場で彼らに会えることを期待します。



オーバーテーブルの紹介

看護部 下村 陽子

病棟で患者さんに使用していただく、オーバーテーブルがすべて新しい物に更新されました。当院の患者サービスを担っている一般財団法人信和会により整備されました。

新しいオーバーテーブルは目に優しい木目調のデザ



インで、最大の特徴は“安全への配慮”です。常時四輪ロックシステムを装備し、動かしたい時にレバーを操作すると車輪が転がるようになる仕組みです。

従来のものより、作りは頑丈で安定し、高さ調節も容易です。体が不自由な方や高齢の方が立ち上がる時の支えとなり、テーブルがぐらついて動き、転倒するというような事故を防ぐこともできます。

また、テーブルの縁は数mmの出っ張りがあり、これが堤防の役目を果たし、上に置いてある物品の落下を防ぐため、患者さんにも好評です。



第8回医療の質・安全学会学術集会「安全を支える技術 アイデア賞」を受賞(平成25年11月24日)

HPリニューアルのお知らせ



信州大学医学部附属病院のサイトが新しく生まれ変わりました。患者さんにとって、見やすくわかりやすい情報提供を第一義とした「おもてなし」サイトにリニューアル。

交通アクセスや病院フロア案内を掲載している他、診療スケジュール、臨時休診などの情報もご覧いただけるようになりました。

■スマートフォンにも対応

スマートフォンでアクセスした場合、スマートフォン用に最適化された画面をご利用いただけるよう対応いたしました。フロア案内、入院の手続き、交通アクセス、各診療科の確認が、外出先でもスマートフォンから手軽にチェックが可能です。



西6階 病棟の紹介

西6階病棟 看護師長 両角 裕子



西6階病棟は、泌尿器科、皮膚科、呼吸器外科、心臓血管外科の混合病棟です。

腎臓や膀胱、尿管、前立腺疾患、皮膚疾患、呼吸器疾患、血管疾患などの患者さんが入院しています。主な治療は手術療法や内服および点滴による化学療法を

行っています。手術を受けた患者さんの合併症予防のためとADLを低下させないために、看護師と一緒に歩くことや身の回りのお世話をしています。医師に治療方針を確認しながら、患者さんの希望に添った看護を提供しています。また退院に向けた指導も行っています。

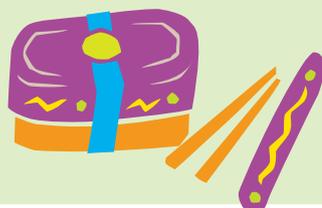
膀胱疾患では、尿路変更の手術を受ける患者さんがいます。手術前からイメージトレーニングとして、ご家族と一緒にビデオを見ていただいています。

腎臓移植も行われていますので、医師と薬剤師、検査技師や栄養士など他職種の方と協力し合いながら検討を行っています。



ご意見函からの声

Q 1階の売店でお弁当を買っても、最低2階のディルームまでいかないと食事ができません。



A 貴重なご意見をありがとうございます。病院内で患者さんやご家族が食事ができる休憩スペースは、病棟各階のディルームの他には、外来棟から病棟へ行くアメニティモールの中に休憩室が御座います。狭いスペースではありますが、テーブルとイスを用意してありますのでご利用ください。

電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号 : 35-4600

【診療科外来】

南1階	小児科	37-2776	南3階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791	リハビリテーション部(作業療法)	37-3399
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793		
	循環器内科			皮膚科	37-2778	通院治療室	37-2552
	整形外科			消化器外科		医療福祉支援センター	37-3370
脳神経外科	移植外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222			
南2階	呼吸器・感染症内科	37-2768	北2階		小児外科	37-2783	胸痛センター
	消化器内科			呼吸器外科	37-2831	内視鏡センター	
	血液内科			乳腺・内分泌外科		37-2846	外来予約センター
	腎臓内科			麻酔科蘇生科	37-2787	臨床試験センター	37-3389
	脳神経内科			形成外科		37-3381	移植医療センター
リウマチ・膠原病内科	37-2773	北3階	精神科	37-2846	子どものこころ診療部	37-2787	
糖尿病・内分泌代謝内科	37-2773		子どものこころ診療部	37-2787	泌尿器科	37-3381	
内科総合外来			泌尿器科	37-3381	特殊歯科・口腔外科	37-2796	
放射線科							

【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757
医療福祉係(診断書)	37-2762

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】				
循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科	37-2769
心臓血管外科			乳腺・内分泌外科	
脳神経内科、脳神経外科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科	37-2771
リウマチ・膠原病内科			腎臓内科	
皮膚科	37-2788	6階	【呼吸器センター】	
泌尿器科			呼吸器・感染症内科	37-2784
消化器外科、消化器内科	37-2782	5階	呼吸器外科	
移植外科、小児外科				眼科、脳神経外科
産科婦人科	37-2772	4階	麻酔科蘇生科	
新生児科(NICU・GCU)				小児科
精神科	37-2775	3階	整形外科	37-2786
子どものこころ診療部				
放射線科、消化器外科、移植外科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科	37-2792
小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科				



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922

編集後記

今回の表紙の写真は、病院関係者が撮影した写真ではなく、一般の方から投稿を頂いた写真を使用しています。同時期に2名の方から投稿を頂きましたので、次号も投稿写真が表紙を飾る予定です。あなたも、自慢の写真でハミングの表紙を飾ってみませんか？

新しいホームページを見ていただけましたか？実は院内掲示もリニューアルしていることに気づいていただけただけでしょうか？患者さんにとって、見やすくわかりやすい情報を提供するとともに、患者さんに優しい病院を目指しています。（編集室委員 藪原 公徳）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
ctc@shinshu-u.ac.jp へお送りください。
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】
信州大学医学部附属病院 総務課 卒後臨床研修係
TEL : 0263-37-3050
※応募はメールのみ受付